

雪に耐えて 梅花麗し

平成30年が終わります また来年 元気で会いましょう

平成30年が終わろうとしています。皆さんにとって、今年はどうな年だったでしょうか。1年生は、4月に入学して、戸惑う事も多かったと思いますが、成長の様子が様々な場面で見られ、とてもうれしく思います。皆さんと接して、最近とても感じるのは、あいさつがしっかり出来るようになってきた事です。4月当初は、なかなか声を出す事ができなかったようでしたが、大きく変化してきました。日常生活の基本がしっかりしてくると、さらに成長が広がっていくと思います。

2年生の皆さんは、3年生からバトンタッチした様々な活動への意欲がとても顕著で、先輩としての自覚ある行動が目立ってきました。すばらしいと思います。生徒会の報告や「ともに!チーム長町プロジェクト」の活動報告、部活動の報告などで校長室に訪ねてきてくれる皆さんのしっかりとした態度がとてもうれしいです。授業を見学にいった時の皆さんの表情もとても良いですね。最上級生になる準備が着々と進んでいるように思います。

3年生の皆さん、今日で今年の登校日は終了しますが、今までの冬休みのワクワク感とは、ちょっと異なるものになるかもしれませんね。体調に十分留意して、今、自分の出来る事、やらなければならない事をしっかりと積み上げて下さい。

「雪に耐えて 梅花麗し」という漢詩の一節があります。これは、江戸から明治にかけて時代を大きく変化させた人物の一人である西郷隆盛が縁者に送った漢詩の一節です。実際は、「…… 耐雪梅花麗 経霜楓葉丹 ……」と続きます。梅の花は、雪に耐えて麗しく咲き、楓の葉は、霜を経て真赤に紅葉するという意味です。3年生の皆さんにとっての意味として当てはめてみると、辛く苦しい時期を乗り越えてこそ、希望の春がやってくるという事になるでしょう。

私は、この一節をある時期に知ってから、自分の心の糧としています。3年生の皆さんは今、とても苦しい時期で、不安が大きくなる時期でもあると思いますが、決して無理をし過ぎないように乗り切ってほしいと思います。

この時期、日本中の中学3年生にとって決して楽しい日々ではありませんが、この進路に向き合う過程で何ができたか、何をどのように悩んで、解決しようとしたか、何を目標に頑張ったか、自分の頑張りに誇りを持てるか、自分から逃げずに向き合うことができたか、という事が大切なのだと思います。それが出来た人は、合否の結果とはまた別に、次のチャレンジに生かせる人間になっていくのではないのでしょうか。そして人間として、大きく成長する契機となるでしょう。自分の進路選択を真剣に考え、目標に向かって取り組んでいるその姿こそが、価値があり、尊い事だと思います。自分の心と体と対話しながら、一歩ずつ進みましょう。

全校生徒の皆さん、年末・年始は思ってもいないアクシデントや事故も多くなります。十分に自己管理して、1月、また元気に学校に戻ってきてください。皆さんが冬休みを健康で過ごし、また学校で会える事を楽しみにしています。

保護者の皆さま、日頃からのご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。